# Java 04日目

**概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **日程** | 2023年4月26日 |
| **学習内容** | 繰り返し、デバッグ① |
| **学習目標** | ・for文の動きを説明できる。  ・while文を利用した処理を記述できる。  ・do～while文を利用した処理を記述できる。  ・eclipseでのデバッグを実践できる。 |
| **教材URL** | 【カリキュラム別資料リンク一覧】  <https://tis-3sss.backlog.jp/alias/wiki/1070511>  【練習問題進捗管理\_Java】  <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1nugK9f4TM_BqM89GxYFL_BnBkI1PKv5b9qB5FEEHhrA/edit?usp=sharing> |

**スケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 09:00 ～ 09:15 |
| **学習内容** |  |
| **学習目標** |  |
| **教材** |  |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 【時間配分】  ・点呼：2分  ・Zoomのスクリーンショット(オンライン会場のみ)：1分  ・挨拶運動：2分  ・目標確認、1分間スピーチ：9分  ・連絡事項通達：1分  以下、参考リンクです。  <https://tis-3sss.backlog.jp/alias/wiki/1126612> |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 09:15 ～ 09:50、10:00 ～ 10:50、11:00 ～ 12:00 |
| **学習内容** | 繰り返し |
| **学習目標** | ・for文の動きを説明できる。  ・ループカウンタを使用して配列の要素を表示する処理を記述できる。  ・拡張for文を利用した処理を記述できる。  ・for文内でfor文を実行する処理を記述できる（2重ループ）。  ・while文を利用した処理を記述できる。  ・do～while文を利用した処理を記述できる。  ・breakを利用した処理を記述できる。  ・continueを利用した処理を記述できる。 |
| **教材** | Java\_講義資料(上巻).pdf  Java\_教科書\_サンプルコード\_2.8.1.zip  第9章\_繰り返し\_1.0.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 9.繰り返し  ・for 文  ・for 文のネスト  ・while 文  ・do～while 文  ・処理の流れの変更  ・制御文のまとめ |
| **ページ番号** | P196～232 |
| **省略** | ・Sample0904.javaは作成しません。  処理の流れのみ説明してください。  ・Sample0905.javaは作成しません。  処理の流れのみ説明してください。  ・Sample0906.javaは作成しません。  処理の流れのみ説明してください。  ・Sample0911.javaは作成しません。  処理の流れのみ説明してください。  ・Sample0912.javaは作成しません。  処理の流れのみ説明してください。  ・章末の練習問題は実施しません。自学自習時に取り組むように受講生に指示してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **講義の時間割例** | **講義時間**  P197-210：50分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル : Sample0901.java、Sample0902.java、Sample0903.java、Sample0907.java  P211-218：50分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル : Sample0908.java、Sample0909.java  P219-227：50分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル : Sample0910.java  **確認試験　10分**  LMSより確認試験を実施してください。  ※下記に該当する確認試験を受講させてください。  ・Java\_08\_繰り返し\_02  **サンプルソース打鍵の目安と注意点**  Sample0901.java：10分  →P198で説明した初期化の式、条件式、変化式の用途を改めてコード説明時にも  触れてあげてください。  Sample0902.java：5分(Sample0901を修正、不足箇所は追記して実行させる）  Sample0903.java：15分  Sample0907.java：15分  →理解が追い付かない受講生がいる場合は、まずネストの動きが分かるようになることを目指すよう伝えてください。  ↑50分----------------------------------  Sample0908.java：20分  Sample0909.java：10分(Sample0908を修正、不足箇所は追記して実行させる)  ↑50分----------------------------------  Sample0910.java：15分  ↑50分---------------------------------- |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 13:00 ～ 13:50 |
| **カリキュラム表記** | デバッグ① |
| **学習目標** | ・eclipseでのデバッグを実践できる。 |
| **教材** | Java\_講義資料(上巻).pdf  Java\_教科書\_サンプルコード\_2.8.1.zip |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 10．デバッグ①  ・デバッグとは  ・デバッグモードの操作方法 |
| **ページ番号** | P234～251 |
| **省略** |  |
| **講義の時間割例** | **講義時間**  P235-245：50分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル : Sample1001.java  **確認試験**  デバッグの「確認試験」はありません。  **サンプルソース打鍵の目安と注意点**  Sample1001.java：20分（終わらなければソースコードを配布して下さい。） |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 14:00 ～ 17:30 |
| **学習内容** | 練習問題 |
| **学習目標** |  |
| **教材** | Java\_練習問題\_3.1.2.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 本日行った内容まで練習問題に解答するよう伝えてください。  場合に応じてグループワークなどを取り入れると理解度向上につながります。  16:45になったら、模範解答を受講生にslack経由で配布してください。  ・10\_繰り返し  ・11\_デバッグ①  【模範解答格納先】  ※各章でフォルダを分けて格納しております。  https://tis-3sss.backlog.jp/git/SCHOOL\_OPE/contents\_ope\_2023/tree/master/01\_ジャンル別教材/010\_プログラミング言語/001\_Java/004\_練習問題/002\_解答 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 17:30 ～ 18:00 |
| **学習内容** | 業務報告書作成 |
| **学習目標** |  |
| **教材** | 学習目標シート\_Java新人研修\_Cコース(3ヶ月間コース)\_氏名 |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 総括を実施してください。   * 個人作業：25分 * 学習理解度の自己チェック * 日報の作成&提出 * 週末アンケートの回答(毎週最終営業日のみ) * サポーターへの口頭報告 * 翌営業日の予告：3分 * Zoomのスクリーンショット(オンライン会場のみ)：2分 |